

ゴミ処理の広域化(彦根市・犬上3町・愛荘町)

住民・議会・行政が共に考える機会を大切に

いま、私たち甲良町民が出す燃えるゴミはどんな経過をたどって、最後はどこに行くのか……存知ですか？
旧愛知郡と犬上3町で運営するリバースセンター 今年4月からは旧愛東町と旧湖東町が離脱)で固形燃料に加工され引受先にて焼却されています。

このリバースセンターの枠組みと彦根市が運営する彦根市清掃センターを合併して、ごみ処理の広域化を行うため、新たなゴミ処理施設建設の候補地選定を巡って、5日、関係市町の日本共産党議員・8氏が彦根愛知犬上広域行政組合の管理者・大久保貴彦根市長に要請書を提出しました。

中川睦子、角井英明、以上彦根市議、辰巳保、瀧すみえ、以上愛荘町議、鈴木勉市、高橋直子、以上豊郷町議、山口久男、多賀町議、西澤伸明甲良町議が連名で要請、事務局と面談しました。要請書を紹介します。小見出しは編集者)。

要請書

1999(平成11)年3月に滋賀県「一般廃棄物処理広域化計画」が発表されたことを受け、当該地域では、新たな広域ごみ処理施設建設に係る推進体制として構成市町の

首長による湖東地域「一般廃棄物処理広域化事業促進協議会」が設置され、その後、当組合の事業として移管され、現在に至っています。

竹原に決定「撤回

建設候補地の選定をめぐっては様々な紆余曲折の経緯をたどった末に、2017(平成29)年6月に発表された「愛荘町竹原区を候補地とする」との決定が本年には撤回に追い込まれる事態となりました。

その後、「再応募」の意思が示された4地区から建設候補地の1地区を選定する取り組みが進められているところだと存じます。4地区周辺の住民説明会では「8月には候補地を決定したい」旨報告されました。よって、貴組合の管

理者会において「候補地決定」に向け、組合議会に候補地決定に係る議案を提出すべく諸準備を進めておられることと存じます。

そもそも「ごみ問題」は住民の日常生活と密接にかかわり、身近で重要な行政課題であることから、住民と行政が課題を共有し、ともに考えると言う基本的立場が必要です。

広域「処理は遠い存在に

「ごみ処理の広域化」は「ごみ問題はみんなで考えよう」という意識の希薄化を招く恐れがあり、それだ

けに、より丁寧に住民と議会への説明を行い、住民合意のプロセスを大切にしなければならぬと滋賀県の「広域化計画」でも強調されているところ

す。その上、「建設候補地」の他、「処理方式など全てを当組合議会において決定すること」になっており、関係市町住民にとっては、ますます遠い存在となってまいります。

以上のことから、以下の事項を要請します。

記

各市町議会に説明を

当組合議会において議決する以前に、今後予想される管理者会における「候補地決定」までの経緯および決定理由、並びにゴミ処理広域化事業等について、各市町議会への説明の機会を設けていただくこと。

「税金チャラは許さない裁判」

公判のお知らせ

●8月22日(木)10時開廷

●大津地裁にて

「税金チャラは許さない裁判」とは、税金横領事件を口実にして野瀬町長らが未納者への「税金の徴収」そのものを「ストップ」したことが大量・多額の「不納欠損」を生じさせた——として被害回復を求めて町民18人が原告となって起こされた住民訴訟です。

甲良民報

2019年8月11日 767号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士373(西澤)
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】